

平成 30 年度

第 2 回「あいパル」運営委員会報告

日 時：平成 31 年 1 月 22 日（火）19:00～20:30

場 所：上戸田地域交流センター「あいパル」 研修室

出席者：上戸田町会連合会 4 名、本町商店会 1 名、一般公募 1 名
サポーターズ倶楽部団体会員 1 名、戸田市 4 名（福祉総務課、
協働推進課、生涯学習課 公民館担当、生涯学習課 図書館担当）、
指定管理者「フレンドシップ上戸田共同事業体」 3 名
以上 計 14 名（欠席 2 名）

開会あいさつ

今回もフリースペースの利用方法について、より多くの方に気持ち
良くご利用いただくためにどうすればよいか、この運営会議で活発な
協議を宜しくお願いします。

議題：フリースペースの利用方法について（第 2 回）

●利用者の皆様に気持ち良く使っていただくためには、マナー(社会常識)
にのっとった最低限のルールは必要と思われます。今回は、センタースタ
ッフが注意をするのではなく、利用する方一人一人が自発的に行動して
くれるように、何をすればよいか協議します。

- ①同一の内容(囲碁、将棋、ゲームをする小学生など)で使用してい
ると、他の利用者が使いづらい。
- ②高齢者サロンは高齢者優先席だが、小中高生が使用していて満席の
時は、高齢者から席を譲って欲しいという要望がある。

<協議内容>

- ・目的：同一目的・広範囲での利用
- ・時間：長時間の専有（現状、時間の制限は設けていない）
- ・高齢者“優先”席：優先ではあるが、必ず席を譲らなければならないのか
以上のような点を中心に、協議を進めたい
- ・一部、サークル活動の延長としての利用があり、専有に見えてしまう。
使い心地が良いので、かえって長時間の利用になってしまうのでは。
各町会の会館も利用できるのだが、どうしても慣れた場所に来てしまう。
- ・囲碁などは、内容上どうしても長時間になる。交流としての意味もある。
連盟の会員以外の方もいらっしゃり、相談しても即時解決とはならない。
→コピー機の前のスペースに（ベンチに合う高さの）机を増やし、囲碁・
将棋のみの利用など目的を固定したスペースを作ってはどうか。
- ・平日の昼間は、高齢の方が中心に利用する。
夕方や土日の混雑時に限って何か行おうのがよいのではないか。
- ・「～してはいけない」「～できません」「～してください」など、禁止やお
願いばかりではなく、利用者自身の気づきを促すような館内放送や音楽
をかける。「ここならできます」「～ならできます」という場所や言い方
の方がよいのではないか。

・長時間の利用は制限してもよいのでは。目安としての利用時間を表示する。

→「長時間」は何時間から？

→1時間程度が妥当なのでは。

・各テーブルにホワイトボードなどを置き、自分の利用予定時間を表示する。
満席の場合、使いたいテーブルのボードに予約者として利用時間を記入する。待っている時間が分かると、イライラしなくなる。トレーニングルームのマシンの予約のようにする。

→ルールなどを含め、誰もが一目見てわかりやすいように設置できるとよい。

→高齢者優先席などは、年齢によって書く色を変えてもよいのでは。

→最大使用時間を決めておいた方がいいかもしれない。

(守らない人がいた場合どうするか？)

→ホワイトボードのローパーテーションなどを活用してはどうか。

片面に利用案内などの掲示もできる。

→学校の長期休暇や混雑する時間帯のみ導入するのがよいのでは。

個人で使っている場合も必要だろうか？

・マナー表示は大きく書いてもいいと思う。

高齢者サロンであること、席を譲っていただく場合があることを明記。

→年配の方に席を譲るのは、電車の優先席で席を譲るのと道徳的には同じ。

教育上、自然なことではないか。

・畳スペースをフロアに改修し、立って使うテーブルを置いてはどうか
(長時間専有への対策として)

・単純に高齢者サロンのテーブルを増やして、高齢者優先席と誰でも使用してよいテーブルに分ければよいのではないか。

<協議の結果>

まずは、実施できそうな館内放送での案内、ポスター掲示などの提案を今後協議を重ねた上で実践してみる。机の購入などは、担当課と協議をする。次回、放送アナウンス文と掲示物のデザインについて協議する。

閉会あいさつ

今回も、皆様から様々なアイデアを聞くことができました。ホワイトボードの設置や館内放送での案内など、かなり具体的なアイデアもいくつか出ています。あいパルでも協議を進めつつ、それぞれのアイデアについて検討を重ねます。

次回開催の日程

3月19日(火) 午後7時～

「あいパル」運営委員会は傍聴できます。